



表紙：鹿児島県開聞岳(佐多岬沖)(提供：河村芳郎)

-
- 327 **巻頭言** 自己組織化とSDGs
藤田 誠
- 331 **論説** ダイバーシティ推進で成果を上げるために必要な
マネジメント力強化
桑田 薫

334 **特集** 超分子化学の新時代：
複合化・階層制御への挑戦

超分子化学は、分子間の弱い相互作用を利用した高秩序の集合体により機能創出を目指す化学で、1987年と2016年にノーベル賞が授与されるなど重要な研究領域です。今なお、生体に匹敵するような複合機能システムの創出に向けた“歩み(=基礎研究)”は進められています。藤田誠教授をはじめとして、日本が先端を走っていた領域ですが、現状はどうなっているのか、若手も含めた新進気鋭の研究者に、現在とこの先の展望をまとめてもらいます。この領域の国際会議が2025年に15年ぶりに日本で行われる予定であり、現状と今後をまとめるいい機会だと考えます。

[担当：伊掛浩輝・畑中美穂・三宅亮介]

- 1 未来への架け橋：時代とともに進化し続ける
「超分子化学」
生越友樹
 - 2 メゾスケール分子集合体
——分子の階層的組織化を駆使した未踏スケールの物質創成
矢貝史樹
 - 3 速度論を制御するホスト-ゲスト化学と機能の時間コントロール
——非共有結合による準安定状態の生成と時間変化を伴う特異な機能の実現に向けて
秋根茂久
 - 4 ポリケトン分子ひもの超分子化学と国際学会 ISMSC
猪熊泰英
 - 5 芳香環ミセル：水中で使える便利な超分子ツール
吉沢道人
 - 6 お椀型分子の結晶化におけるボウル反転と溶媒効果
焼山佑美
 - 7 シクロパラフェニレンを基盤とした超分子化学の展開
土戸良高
 - 8 ペプチド性超分子を用いたドラッグデリバリー
若林里衣
 - 9 超分子化学，産業応用へ
——東京大学 社会連携講座「統合分子構造解析講座」の取り組み
佐藤宗太
-

2024 年度化工誌編集委員会

委員長：西山 繁 理事：関根千津

幹事委員：菅 孝剛 / 長門石 暁 / 緒明佑哉 / 砂田祐輔 / 三宅亮介 / 朝倉則行 / 山本崇史 / 和田宏明 / 中村将志 / 岡本敏宏 / 岡添 隆 / 丸山由貴 / 栗山敬祐 / 矢島知子

委員：伊掛浩輝 / 畑中美穂 / 山本隆文 / 小林直樹 / 清水章弘 / 守谷 誠 / 兵藤憲吾 / 深澤倫子 / 須貝 威

監修：植村 榮 / 岩本振武

★化工誌記事についてのお問合せ E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

デザイン：(株)マツダオフィス

351

Division Topics

- 1 分析化学 カラフルな蛍光を生み出す柔軟な構造の分子プローブ
- 2 高分子 生体分子を燃料とする高分子材料
- 3 生産技術・製品開発 光によって促進される電子触媒クロスカップリング反応

353

BCSJ/Chem Lett グラフィカルアブストラクト

357

化学会発

磯部稔名誉教授（名古屋大学）に 2024 Nakanishi Prize 天然物化学・生命科学ディビジョン

359

支部だより

第 330 回 化学への招待 開催報告 東北支部

360

CCI サロン

化学よもやま話 植村 榮

361

編集後記

362

会告 (次号予告)

363

お知らせ

行事一覧

講習会・講演会

研究発表会——発表募集

374

掲示板

375

求人・求職

次頁

広告索引・広告資料請求用紙 (ご活用下さい)

